

※受付・研究発表会会場はP.4の「一般教育棟 会場案内図」参照

大会日程 第1日 11月29日 (土) 12:00~18:55

■受付開始 11:30 一般教育棟1階 エントランスホール

■研究発表会

12:00	開会の辞 開催校代表挨拶	大会実行委員長 沖縄県立芸術大学副学長	高瀬澄子 久万田晋	大講義室
-------	-----------------	------------------------	--------------	------

研究発表 I	I-A (301教室) 司会：三島わかかな	I-B (303教室) 司会：久万田晋	I-C (大講義室) 司会：福岡正太
12:05 12:35	玉城菜々子 ⇒9頁 地方都市における洋楽受容 と日露戦争—鹿児島県を中 心に—	澤田聖也 ⇒12頁 鶴見区と川崎区の琉球芸能 実践—沖縄一世から二世へ の継承—	【共同発表】 ⇒15頁 植村幸生 (代表)・岡田恵美 金城 厚・藺田 郁 対話的文化資源としての日 本民俗音楽録音資料 * 13:35終了
12:40 13:10	東館祐真 ⇒10頁 1928年の昭和大礼におけ る音楽行事—近衛秀麿・諸 井三郎の事例の検討を中心 に—	山本佳穂 ⇒13頁 女性による歌三線演奏様式 の変遷—音声分析ソフトを 用いた分析—	
13:15 13:45	李 惠平・松橋輝子(非会員) ⇒11頁 昭和戦前期の日本における 讚美歌受容の一側面—吉川 二郎による『福音新報』関 連記事を中心に—	鮑 沛蘭 ⇒14頁 島から島へ—台湾における 沖縄民謡の受容と文化実践 —	

休憩 (13:45~13:55)

研究発表 II	II-A (301教室) 司会：塚原康子	II-B (303教室) 司会：小西潤子	II-C (大講義室) 司会：遠藤 徹
13:55 14:25	丸山 彩 ⇒16頁 明治後期の京都における演 奏会—慈善音楽会に着目し て—	井上春緒 ⇒19頁 視覚化されたリズム—19 世紀初頭西インドにおける ターラ・マーラーとペル シャ語音楽書『タブラーの 理論書』との比較研究—	丹羽幸江 ⇒22頁 語り物の楽譜としての胡麻 —金春禅竹自筆譜と八左衛 門本との比較から—
14:30 15:00	山田淳平 ⇒17頁 戦後の芸能史研究と平出久 雄	井上さゆり ⇒20頁 変化する演奏を伝える楽譜 —ミャンマー古典歌謡の伝 承における楽譜の役割—	李 媛 ⇒23頁 陽明文庫『新撰笙笛譜』に 見える特殊な記譜法につい て
15:05 15:35	宮武苑子 ⇒18頁 日本と韓国における伝統楽 器店に関する予備的研究	田 野成 ⇒21頁 京劇《空城計》の花過門— 流派の違いに着目して—	根本千聡 ⇒24頁 中世笛伝承の考察—大神流 の分枝と相克—

休憩 (15:35~15:45)

研究発表 Ⅲ	Ⅲ-A (301教室) 司会：内田順子	Ⅲ-B (303教室) 司会：濱崎友絵	Ⅲ-C (大講義室) 司会：小塩さとみ
15:45 16:15	三島わかな ⇒25頁 彼の芸能からわが芸能へ— 昭和悠紀の斎田芸能を事例 に—	横井雅子 ⇒28頁 ツィンバロムはいかにして ジプシー楽団の構成楽器と なったのか	【共同発表】 ⇒31頁 山本華子(代表)・有村さ やか(非会員)・武山美子(非 会員)・吉川幸子(非会員) 学校が担う「よさこい文化」 の可能性—保育者養成校の 取り組みから— * 16:45終了
16:20 16:50	福岡正太 ⇒26頁 徳之島の芸能伝承における 映像活用の可能性	米山知子 ⇒29頁 民謡歌手に“なる”—現代ト ルコ都市におけるメディア 利用と民謡歌手の形成過程 —	
16:55 17:25	遠藤美奈 ⇒27頁 御座楽楽器「長線」に関す る考察—ライプツィヒ大学 楽器博物館所蔵「Koo」を 交えて—	鈴木麻菜美 ⇒30頁 アレヴィー儀礼音楽におけ るメルスイエと女性の声— 悲嘆・連帯・抵抗の実践—	

■田邊尚雄賞授賞式

17:40 18:00	第42回田邊尚雄賞授賞式 受賞者 柴佳世乃 授賞対象 『仏教儀礼の音曲とことば 中世の〈声〉を聴く』 (法藏館、2024年2月) 受賞者 山田淳平 授賞対象 『近世の楽人集団と雅楽文化』(吉川弘文館、2024年5月)	大講義室
---------------------	---	------

■田邊尚雄賞授賞祝賀茶話会

18:05 18:55	田邊尚雄賞授賞祝賀茶話会	302 教室
---------------------	--------------	--------